

おもな内容

1. 横雲橋の歩道橋が完成 (2P)
2. 国民年金移動相談所開設 (2P)
3. 赤ちゃん百科 (2P)
4. 商工会資能祭開かる (3P)
5. 土改横越工区
創立30年を祝う (3P)
6. 横越地区が優勝 (4P)
7. 田村君、五十嵐君海外へ (4P)



盆栽シリーズ⑨ としょう(横越(川根谷内) 長谷部留次氏所有)

秋の全国火災 予 防 運 動

11月26日～12月2日



十一月から三月にかけての冬場は、石油ストーブなどの暖房器具を使うことから、一年のうちでも最も火事が多い季節です。火災の原因をみますと、暖房器具がもっとも多くその中でも一番多いのは、なんといっても石油ストーブです。

昭和五十三年の統計では、ストーブによる火災二千七百六十六件(全国)のうち、七五割にあたる二千七百六十六が石油ストーブによるもので、今年も、十一月二十六日から十二月二日まで、秋の全国火災予防運動が繰り広げられます。石油ストーブの安全な取り扱い方について考えてみましょう。

石油ストーブの 取り扱い

石油ストーブによる火災の原因は、火を消さずに給油したり、出入り口など人のよく通るところに置いていて転倒させたりといった取り扱いが原因によるものが多いとみられます。暖房には欠かせない石油ストーブですが、取り扱い方一つで恐ろしい火災に変わります。日常の取り扱いには、次の点を特に気をつけてください。



いものは、そばに置かない。△ヘアースプレ、マニキュア、接着剤など引火性のものは、そばで取り扱わない。

△「新しく買った製品」
△「対象製品取扱書」の「安全上の注意」を必ず読んでおく。
△使用する部屋に合った構造の機器を選ぶ。

消 防 水 利

いざというときのために大切に保護しよう。「消防水利」という言葉を存じますが、これは、火災現場にかけつけた消防隊が、緊急に使用する消防用の水です。

△「消火せん、防火せう」
△火災の消火作業は、一分一秒を争います。日ごろから「消防水利」をいつでも使えるような状態にしておくことが大切です。

△消防水利の近くに、消防活動の妨げになるような物を置かないようにしましょう。
△防火水そうなどの消防水利に、ゴミや物を投げ込まないようにしましょう。又、子供たちをさく内で遊ばせないように気をつけてください。

△新聞や雑誌など燃やす

△カーテンやふすまなど燃やさないものは、そば、上から物が落ちるかもしれないかなの下などには置かない。
△人の出入り口や通路などは転倒の危険があるので避ける。
△移動させる場合は、いったん火を消す。火をつけたまま持ち運ぶのは危険です。

おもしろ

若者に人気の高い歌手が「開白宣言」と云う歌をうたい出してチャットした話題を呼んでいる。「お前を嫁にもらう前に云っておきたい事がある。」と云う出しで始まり、李圭開白を宣言する歌である。以下少々中年者主体にとり、お前を嫁にもらう前に云っておきたい事がある。と云う歌、彼等を取り巻く家庭環境で共通していることが一つあるといわれている。それは、「父親の権威が弱い。」と云う事である。なるほど、戦後のウツ下とアンカは弱くなった。事実と、青少年の非行の増の事実には何らかの関連性がない訳ではない。つまり家の中の柱。一番大いなる権威があるハベキらしいところを、そして、その柱は父親であるといふ家庭がベターである。昔に比べると父親より、アンカと云う男が柱として好まれている。この様な事云々と男が女陣と誤解されてしまっている。知れないが、それはいいのだ。「男である女性」結婚、「ギャラアガ」結婚、男性より能力のある女性も多い。女性化した男性、男性化した女性、それもそれでいい。皆大切だ。唯、男女平等の世の中だから、男でなくてはならない役割や、女でなければならぬ役割があるのではないかと云いよう。

「開白宣言」の終りに「お前のおかげで、人生変わった」と云う云うか、と云う部分がある。要は結婚である。真心である。真心と云う一本の心にも愛がある。それが、健全な青少年を育成し、地域発展の力となる。と云う。そして、新しい時代へのより良いつづきの事業となることであろう。(山崎)